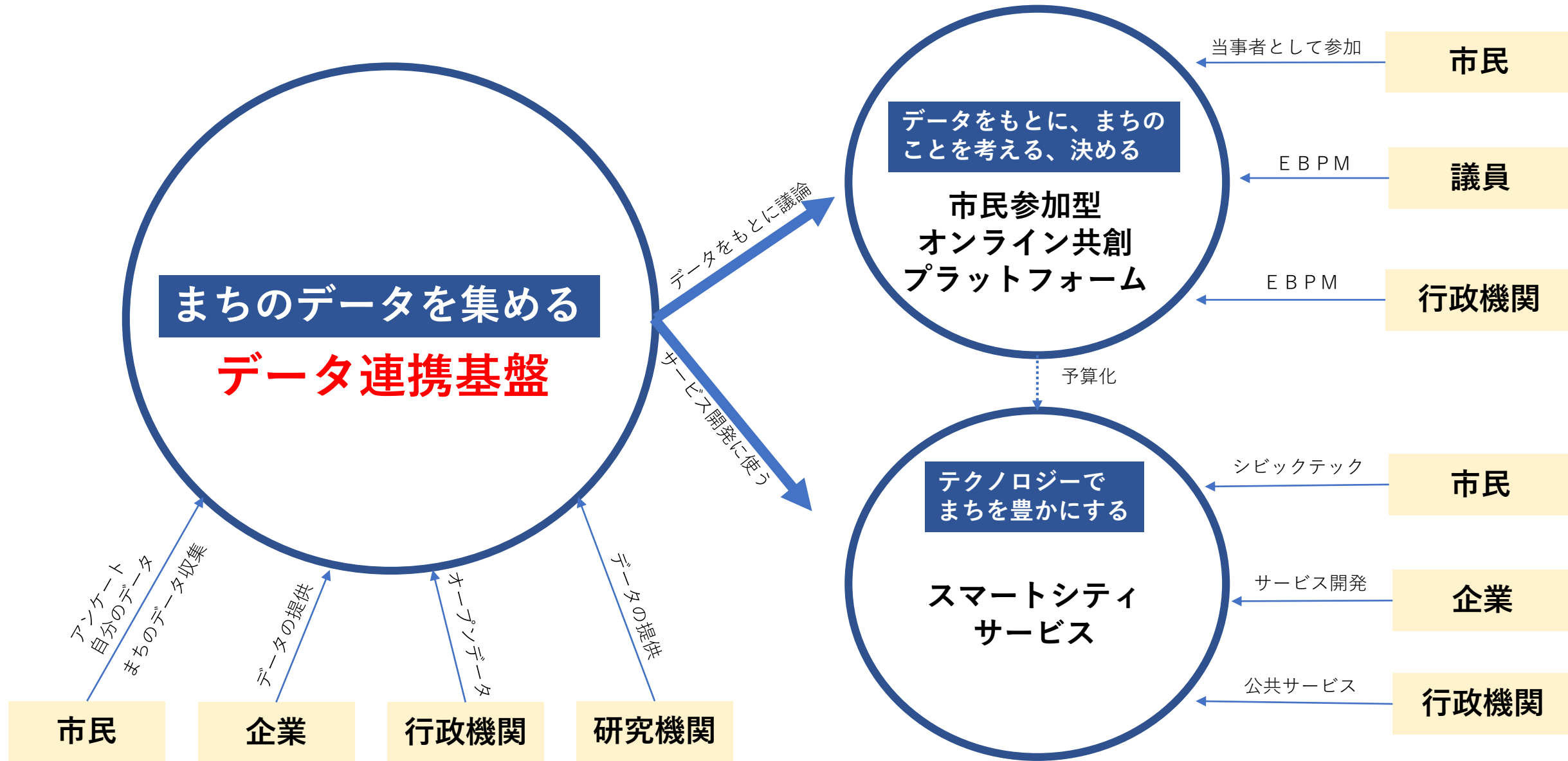


鎌倉市スマートシティ

データ連携基盤を知る、考える

2023年 2月 15日
神奈川県 鎌倉市 共生共創部 政策創造課

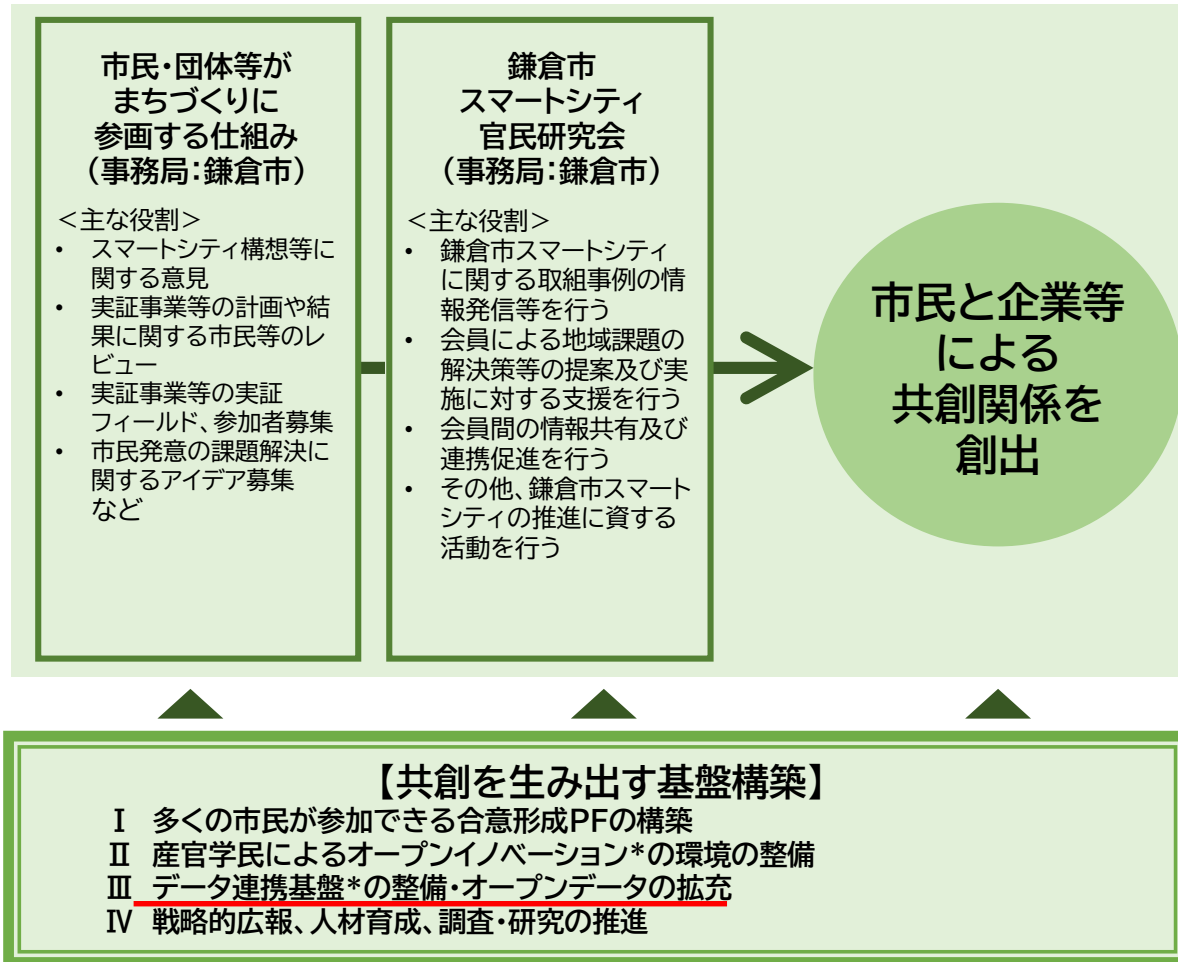
1 鎌倉市スマートシティの目指す姿



2 鎌倉市スマートシティ構想における位置づけ

推進体制

- 鎌倉市スマートシティでは、市民のQOL・まちの魅力向上に向けて、まちづくりを担う市民・団体等と、先端技術・サービスの開発・提供を担う鎌倉市スマートシティ官民研究会との連携を促し、共創関係の創出により課題解決に取り組みます。



共創を生み出す基盤

I 多くの市民が参加できる合意形成PFの構築

- ① オンライン合意形成PFの構築
 - ・ 市民起点の実現と新たなコミュニティの形成
 - ・ オンラインとオフラインを組合せ、誰もがオープンに参加可能な仕組みの構築
- ② データ利活用等と官民共創の取組との連動
 - ・ プライバシー保護と透明性確保、リスクや倫理的課題の明確化の徹底

II 産官学民によるオープンイノベーションの環境の整備

- ① 庁内推進体制の強化
 - ・ 外部人材の活用
 - ・ 縦割りの打破
- ② 大学等との連携
 - ・ 共同研究の促進
- ③ 官民共創による推進体制の強化
 - ・ 鎌倉市スマートシティ官民研究会を活用した連携促進
 - ・ 市民と企業等の共創関係を創出する実証事業等の推進
 - ・ 新産業創出、神奈川県ベンチャー支援との連携強化

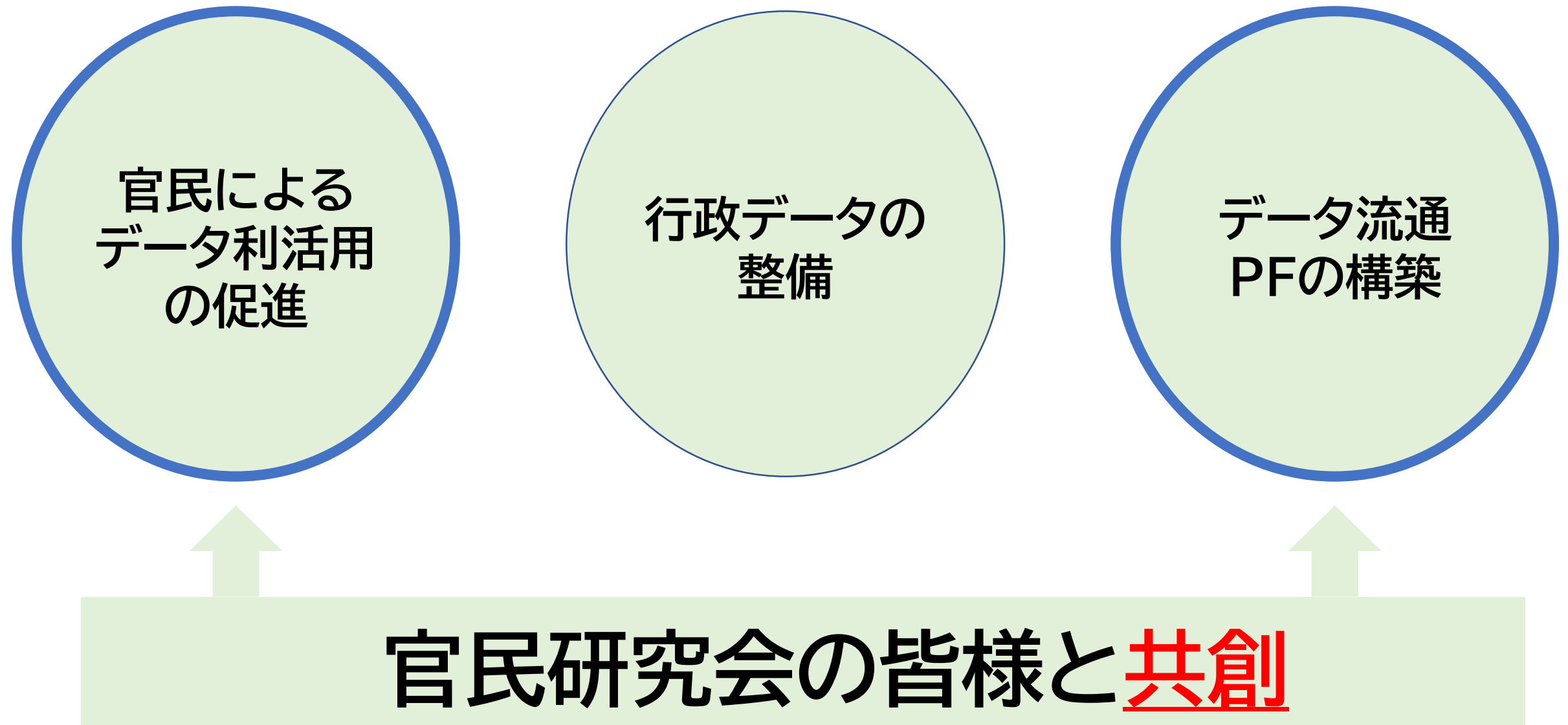
III データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充

- ① 官民によるデータ利活用の促進
 - ・ ユースケース(事例)の創出（行政や企業を対象としたアイデアソン*・ハッカソン*等の開催、EBPM*の推進、データ連携基盤の実証環境の整備等）
- ② 行政データの整備
 - ・ オープンデータの拡充（紙データ等のデジタル化やデータのクレンジング*、一元化・標準化の実施）
- ③ データ流通PFの構築(取引条件・仲介機能)
 - ・ 提供者の課題と利用者のニーズの把握
 - ・ データ流通・利活用のケーススタディ*事業の実施やルールの整備
 - ・ システム基盤の構築

IV 戦略的広報、人材育成、調査・研究の推進

- ・ ターゲットに合わせたPFの構築（市のホームページ、note*、SNS*等の活用）
- ・ 継続的な情報発信（優れた取組の発信、イベント、インタビュー等）
- ・ データ利活用に対する理解促進（市民データサイエンティスト*の養成、アイデアソンの開催等）
- ・ シニア向けデジタル講座やFab Citizen*の育成等の充実
- ・ 住みやすさと幸福度の数値化・指標化(LWCI*)の調査・研究（P13参照）

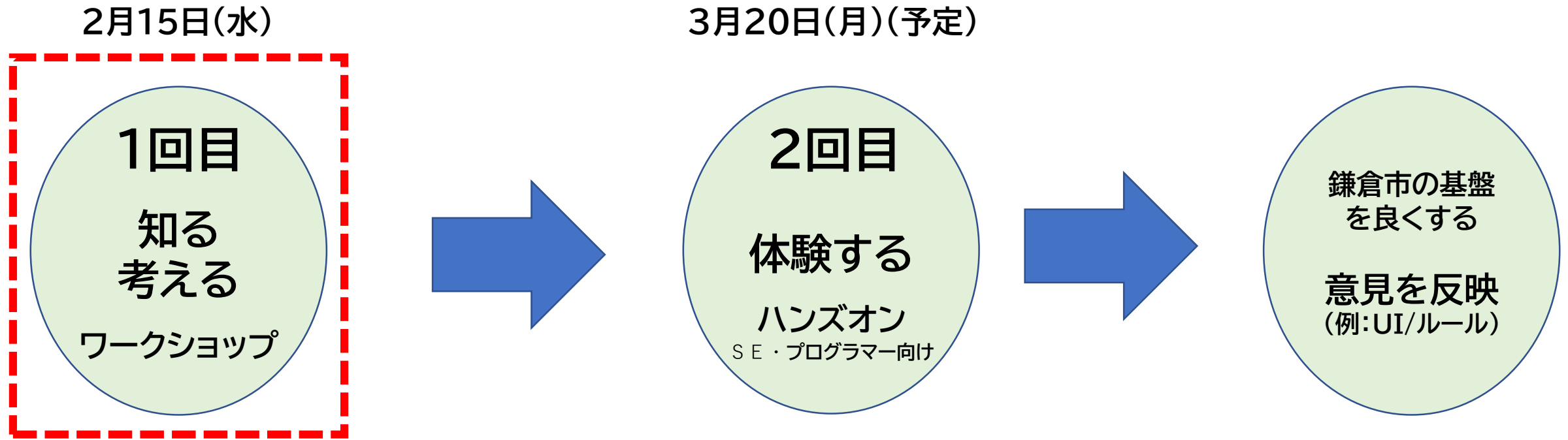
3 鎌倉市データ連携基盤の整備



4 データ連携基盤のイメージ

データ連携基盤を一緒に作り上げていく事をイメージしていただくために

5 令和4年度のスケジュールについて



本日のWSはデータ連携基盤を官民研究会の皆様と共創していくキックオフとして開催